

# 1 企画部

## 道路分野における技術輸出方針に関する検討

Consideration of policy for exportation of road technology

企画部 国際研究推進室

(研究期間 平成 26～27 年度)  
室 長 曾根 真理  
課長 補佐 松岡 禎典  
研 究 官 薄井 宏行

### [研究目的及び経緯]

国土技術政策総合研究所（国総研）では、政府が重要な施策として掲げる道路分野のインフラシステムの海外展開に資するため、東アジア地域の途上国を対象とする道路分野における技術輸出方針に関する検討を行っている。

今年度は、検討にあたっての基礎調査として、文献調査、オーラルヒストリー調査、グループヒアリング及びヒアリング調査を行った。文献調査では、日本と東アジア地域における自然条件及び社会構造変化の類似性を明らかにした。自然条件の類似性は、降水量の多さや地震活動の活発さの類似性に基づく考察である。社会構造変化の類似性は、1970年、1990年、2010年の三時点における日本及び東アジア地域各国の人口構成の類似性に基づく考察である。加えて、高度経済成長期の日本と今日の東アジア地域が直面する課題の類似性（交通事故の急増とその対策等）を指摘した。オーラルヒストリー調査によって、過去の日本が直面した道路行政課題とその解決過程を明らかにすることは、途上国向け技術輸出方針の検討資するとの結論が得られた。オーラルヒストリー調査では、国際経験が豊富なシニア土木技術者5名を対象にインタビューを実施した。グループヒアリングでは、オーラルヒストリー調査等の情報をもとに、学識者3名を含む有識者が一同に会して議論を行い貴重な意見を集めた。ヒアリング調査では、現在最前線で国際業務に携わる現役技術者10名を対象に対談を実施した。